

2012年7月14日 三郷の子どもを放射線から守る連絡会主催

放射能汚染による内部被曝から子供達の健康をまもるための放射能問題学習会

「子供達の健康をまもるために、今できること、今後取り組むこと」

DVD「WHOとIAEA 放射線汚染を巡って」鑑賞と解説

解説「子供達の健康を守るために、閾値なしモデルの重要性」

大場文江（小児科医、クリニックふれあい・副院長）

報告「子供達の健康を守るために、EMを活用した放射能汚染軽減への取組」

新谷正樹（EM有用微生物群研究機構 東京女子医大非常勤講師）

報告「子供達の健康を守るために、脱原発から核廃絶へ」

山中智恵子（看護師・訪問看護ST、新日本婦人の会足立支部）

休憩10分

パネルディスカッション 「放射能汚染から子供達の健康をまもるために、

今できること、今後取り組むこと」

パネラー 報告者3人とともに

熊谷 千晶（小児科医、三愛会総合病院）

松田 茂利（三郷市労働組合連合会議長・三郷市内放射線量測定）

加藤 章（農業者、元農業委員 べじ太くん（JA三郷市とれたて野菜直売所）創設者）